

事務事業名 登別市農業経営基盤強化資金利子助成事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	2	自然を活かした産業の育成
施策	1	特色ある農業・漁業の推進
小分類	3	ゆとりある酪農・畜産経営の促進
主要な施策	2	畜産生産基盤の整備
事務事業番号	004	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 27 年度 会計種別 一般会計

部 名	観光経済部	グループ名	農林水産G
-----	-------	-------	-------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	農業者が借り入れする農業経営基盤強化資金の利子の一部を助成することで、実質金利を引き下げ、農家の負担を軽減し、経営の安定化を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	貸付当初から、5年間利子助成する。(利子の1/10を市が負担する。) 【平成23年度事業実績】 1件 37,000円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	農業者を支援するために必要な事業であることから、今後も事業を継続する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市農業経営基盤強化資金利子助成金交付要綱

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円		18	22	18	18
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円		19	23	19	19
事業費合計			0	37	45	37	37

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	助成対象者	人	目標値		1	1	1	1
			実績値		1			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>運営資金の借り入れの負担が大きかった。</p>	<p>農業者の負担が軽減され、経営の安定化が図られている。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	→	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 農業者を支援するために必要な事業である。
		民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
		国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
		国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	→	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 地域の農業振興には必要な事業である。
		市民アンケートの結果から必要性が高い	
		社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
		市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	→	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 農業者の負担が減り、経営の安定化につながっている。
		市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
		多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
		将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	→	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 農業者の負担が減り、経営の安定化につながっている。
		市民、団体等の声から成果を感じられる	
		目に見える形で成果があがっている	
		成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	実質金利を引き下げ、農家の負担を軽減し、経営の安定化を図ることは必要であることから、今後も事業を継続する。
----	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考	
----	----	--